市政情報

暮らしを支える公共交通

デマンド（予約）型乗合タクシー 祝 利用者数が 10 万人を達成！

生活圏域内の移動を確保する新たな公共交通として、平成 23 年 2 月に運行を開始したデマンド（予約）型乗合タクシーの利用者数が 10 月 20 日（月）、10 万人を達成しました。

記念すべき 10 万人目の利用者となった村上ひろ子さんと 858 回の最多利用者（10 月 20 日時点）辻サツ子さんには、辻市長と丹波市地域公共交通活性化協議会 里副会長から感謝の言葉と記念品として利用回数券などが贈られました。

また、業務開始以来、健全な運営を担ってきた丹波市商工会 大地 但（ただ）会長と安全第一に無事故無違反で運行を行ってきた（一社）兵庫県タクシー協会丹波支部 足立安夫さんに感謝状が贈呈されました。

10 万人目の利用者 村上ひろ子さん（左から 2 番目）と最多利用者（10 月 20 日時点）の辻サツ子さん（左から 3 番目）。11 月 3 日（月・祝）に行われた丹波 GO!GO! フェスタ 2014 内で記念式典が行われました

地球温暖化の原因である二酸化炭素を抑制することやガソリン代が高騰するなか経費削減につなげようと、丹波市ではじめて電気自動車を導入しました。

市役所本庁舎と春日庁舎に 1 台ずつ配置し、それぞれに簡易の電気スタンドを設け主に市内での移動に利用しています。

電気自動車は電気を燃料に走る環境にやさしい乗り物です

デマンド（予約）型乗合タクシー 年末年始 休業のお知らせ

■休業期間 / 12 月 27 日（土）～ 1 月 5 日（月）

聞く × 対話する！実践する × 交流する！

「地域プロデューサー養成講座」

地域づくりの核となる「地域プロデューサー」にとって必要な「モノづくり」「人づくり」「仕組みづくり」の 3 つのスキルを磨くとともに、人と人をつなぐ「コネクター」となるための地域づくり講座を開催します。

【第 1 回 情報発信講座】
1 月 24 日（土）午前 10 時～午後 7 時
■テーマ / 「壁新聞で学ぶ、地域を編集する力」
■講師 / 藤本智士（有限会社りす代表）

【第 2 回 協働と参画講座】
2 月 28 日（土）午後 1 時～ 4 時 30 分
■テーマ / 「参加を誘う地域づくりデザイン」
■講師 / 檀上祐樹（大阪産業大学工学部講師）

［各回共通事項］
■ところ / 氷上住民センター
■定員 /50 人程度
■申込方法 / 市ホームページに掲載または各公共施設に設置の募集チラシをご覧ください。
■申込締切 /12 月 26 日 (金)
※託児あり（要事前申込）

問 生涯学習センター（氷上住民センター内）
☎ 82 - 0409

動く恐竜ロボット、マラウィーサウルス全身骨格・・・

迫力満点のアロサウルスの動く恐竜ロボット

丹波竜から「タンバティタニス・アミキティアエ」へ

特別展「丹波竜の軌跡」絶賛開催中

11 月 1 日（土）から、新属新種であることが判明し、学術的にも注目を集める丹波竜（学名 タンバティタニス・アミキティアエ）の尾椎や肋骨など約 20 点の化石を展示し、これまでの研究とその軌跡を公開しています。

その他、6.2 メートル、大迫力の動く恐竜ロボット「アロサウルス」や丹波竜の近縁である「マラウィーサウルス」の全身骨格の模型も展示しています。

■開催期間 /12 月 7 日（日）まで
開館時間 : 午前 10 時～午後 4 時
■開催場所 / 丹波竜化石工房「ちーたんの館」
問 丹波竜化石工房「ちーたんの館」
☎ 77 - 1887

記念品リニューアル効果で寄付金が好調に推移

ふるさと寄付金 PR 画像

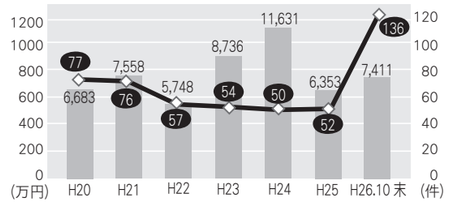
ふるさと寄付金件数が倍増しました

住所地以外の自治体に寄付を行った場合に、2 千円を超える部分について一定の上限まで税金の控除が受けられ、だれもが手軽にふるさとに貢献できるふるさと寄付金（ふるさと納税）。丹波市では、平成 20 年度に「“恐竜の里たんば” ふるさと寄附金」として募集を開始して以来、市外在住で 3 万円以上の寄付をされた方に、4,000 円相当の記念品を贈呈してきました。

今年の 6 月には、さらに多くの寄付金を募ろうと、記念品を一新。丹波市の特産品を使ったこだわりスイーツ、地酒、牛肉、季節限定の特産物など、計 20 点を取りそろえました。

記念品のリニューアル効果、また、丹波市豪雨災害の被災地復興支援を目的とした寄付の増加によって、寄付件数は 136 件と昨年度比ですでに 2 倍を超え、寄付総額も約 7 百万円と好調に推移しています。

◇ふるさと寄付金推移 ━ 件数（件） ■寄附金（千円）



宝くじ社会貢献広報事業

「コミュニティ助成事業」を活用して防災備品を購入しました

丹波市防災会は、減災と社会の防災力向上のための意識、知識、技能をもった防災士などで組織される市民団体で、地域の自主防災組織が実施する防災訓練などの指導を行っています。

丹波市防災会では、今年度、宝くじの社会貢献広報事業 である「コミュニティ助成事業」を活用して、AED と煙体験ハウスを購入。これらの備品は、広く市民の防災意識と防災力の向上に役立てられます。

防災訓練などの指導等のお手伝いをします。
お気軽にご相談ください。
問丹波市防災会 金子勝典 ☎ 090 - 2042 - 7748

9 月 6 日（土）に丹波の森公苑で開催された「防災講演会＆防災フェスタ」では、AED や煙体験コーナーが設置され、丹波市防災会の会員のみなさんが、来場者の防災意識の向上に努めました